

〈令和3年度〉

第2回学校関係者評価委員会議事録

1. 日 時：令和3年2月26日（金）16時～17時
2. 場 所：日本リハビリテーション専門学校イセビル2階
※Zoomによるオンライン開催
3. メンバー 外部委員 田中、大塚、横山、三沢、福光
内部委員 二瓶、草野、工藤、阿部、黒木、手塚、木下、松生
4. 会議内容 以下議題に沿って進行 進行：阿部

〈議題〉

1、国家試験の合格率見込みについて（松生）

本校では合格率100%を目標とし、臨床実習終了後の10月から以下の国家試験対策を実施している。なお、新型コロナウイルス感染対策のため、対面に加えてZOOMを併用している。

(1)国家試験受験対策

- ①少人数によるグループワーク（過去10年分の試験問題の実施等）
- ②外部講師による解剖学・生理学・運動学に特化した特別対策講義
- ③業者模試（2か所、計4回）
- ④学内模試（5回程度）
- ⑤低学力者に対する個別指導

(2)各学科の国家試験合格率予想

現時点での各学科における国家試験合格率予想は以下の通り。

理学療法学科昼間部	82%～96%	理学療法学科夜間部	87%～96%
作業療法学科昼間部	86%～100%	作業療法学科夜間部	81%～96%

2、学生募集活動状況報告（黒木）

2022年4月より、理学療法学科昼間部の定員を現在の40名から80名に増員する予定だが、定員変更計画書を役所が受理するまでは広報活動を行う事ができなかったため、例年よりもスタートが遅れてしまった。状況を挽回するため、ホームページの充実や説明会の内容を変更する等、色々な取り組みを実践したものの、資料請求、来校者数、エントリー数、出願等、昨年度に比べて下回っている。

3、就職状況について（阿部）

令和3年度も令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため、病院・施設等の人事担当者を招いての就職説明会は中止とし、病院・施設等がホームページに公開している求人動画等の情報を学生にアナウンスしている。その他、求人情報の学生サイトや求人コーナーへの掲示を行っている。

令和2年度の実績および令和3年度の実績は以下の通り。

<令和2年度>

理学療法学科（昼・夜）

病院 69.5% 老健 5.4% 診療所・クリニック 19.6% その他 5.4%

作業療法学科（昼・夜）

病院 95.6% 老健 2.2% その他 2.2%

<令和3年度>

理学療法学科昼間部 89.7% 理学療法学科夜間部 64.5%

作業療法学科昼間部 69% 作業療法学科夜間部 77.8%

年内に就職先が決定していない学生に対しては、一旦国家試験に集中し、国家試験終了後に就職活動を再開する様、指導している。

4、第5回 FD・SD 研修会報告（阿部）

日時：令和4年2月11日（金）9:00～17:00

テーマ：アクティブラーニング・PBL

講師：東京慈恵医科大学病院 岡崎先生

（内容）

以下のテーマについて、講義を受講した後、グループワークを行った。

テーマ

アクティブラーニングとは

共同学習とは

PBLとは

研修効果（アンケートより）

- ・ 協同学習の価値、PBLの価値と、実施するために前準備を学んだ。
- ・ チューターの仕事内容の共有、評価法の十分な吟味の必要性を学んだ。
- ・ アクティブラーニングにおける、PBLを中心とした具体的な重要ポイントを学んだ。

今後の課題

- ・ 根幹である『どんな学生を育てるか』、『教育の目的』、『カリキュラムツリー』をより明確にし、方略を考える必要がある。
- ・ PBL をイベントにするのではなく、通常授業にも取り入れていく必要がある。
- ・ アクティブラーニングの取り組み（種類）を理解し、PBL 以外にも取り入れていく。
- ・ チューターガイドの作成が急務であると感じた。

<意見交換>

【三沢】

国家試験について

国家試験合格率 100%に向けて、本当にご苦労なさっていると感じている。国家試験対策講義を Zoom で受講するとなると、学生同士の相乗効果もそこまで期待できないのではと思う。日リハ国家試験対策は非常に素晴らしいと思うので、是非それでより良い結果を得られればと聞いていて思った次第です。

募集について

優秀な学生がたくさん入学し、理学療法士・作業療法士を臨床現場に送り出す事は専門学校として大切なことだと思います。私どもも実施施設としてもそうですし、東京都医師会としても色々と協力できればと思います。

今回、募集が苦戦している理由としては、定員増の対応のおくれや近隣大学の影響があるのだと思うのですが、コロナの影響はどうでしょうか。

【阿部】

本校が従来から強みにしていた実習時間数が、新型コロナウイルスの影響により実習時間を十分に確保出来ないという状況があります。

定員増加の影響については、早期に募集活動を行う事が出来なかった事がやはり影響しています。コロナ禍にも関わらず強い思いをもって入学してくださった学生に対し、コロナ禍であっても充実した教育を実践できるよう、教育体制をブラッシュアップしていきたいと考えています。

【三沢】

FD 研修について

教員向けの FD 研修は非常に良い取り組みをされていると思いますが、過去の研修も含め

て、授業に取り入れられるようになっていく感じでしょうか

【阿部】

本校は早い段階で PBL やポートフォリオ等を取り入れていますが、どうしても医学部で実施している内容を PT、OT にアレンジをした形で、ちょっと崩れてしまった形ではあったので、もう一度医学教育、医学部が実践している手法をまた 1 から勉強させていただきまして、それを忠実に再現できる場所は再現して、リハに活用出来る場所は活用してという形で授業に取り入りたいと考えています。

【大塚】

国家試験に関してはグループワークでみんなと一緒に頑張ってきたという思いが、最後の最後、辛い時期を乗り越える要素にもなったので、すごくそれは良かったのですが、今の学生はそういうことが中々直接的に出来ないとなると、最後の踏ん張りどころというのが中々持ちにくいのかなというのが心配なのですが、ただ模試の結果を見るかぎりでは皆さん頑張っていると思うので、今の学生さんに期待していきたいとします。

就職に関しては、どうしても病院や老健とかが多いかなと思うのが、その他というのは PT で 3 人、OT で 1 人いますが、どのような施設に就職したのでしょうか。

【松生】

ご質問ありがとうございます。作業療法学科は放課後デイサービスや特別養護老人ホームなどに就職しています。

【阿部】

理学療法学科は訪問ステーションに就職した学生がいました。

【大塚】

作業療法士の職域がどんどん広がってきていると思うので、病院や老健以外にも、例えば放課後デイサービスや、一般企業など、そのような所で OT の強みが活かせるというのを打ち出せると、1 つの強みとなると思います。

【阿部】

ありがとうございます。来年から管理学という授業も入ってきますので、病院や施設で様々な管理をしている特殊な分野を含めて、PTOT とも様々な分野の先生をお呼びして幅広い講義と言いますか、現場をご指導いただく機会が出てくると思います。

【横山】

国家試験の合格予測について、例年に比べていかがでしょうか。

【阿部】

理学療法学科の方は過去問や業者模試、校内模試の結果を踏まえ、1番肯定的に捉えたのがいわゆる高いほうで、最悪のケースの場合は一番低いという想定となっています。

【松生】

例年と比べてもさほど変わりはないのかなという印象です。

【横山】

ありがとうございます。学生募集活動についてなのですが、親御さんの意向が反映されて入学に至るケースはありますか。

【黒木】

今年だけではなく近年は親子で参加される方も多く感じます。

説明会の中の工夫の1つとして、学生が校内見学に行っているときに、保護者の方には職員が個別にお話を聞いて、心配事とか、何が入学のきっかけになるのかなということ、話をしてく中で聞いていくと、本校との学習の指導の方法とか教育の方針に割と同意していただけ、そういうような印象は受けています。

【横山】

ありがとうございます。最後に、日リハの育成人材像を教えてください。

【阿部】

まず一人の人間として社会人として礼節をもって思いやりをもって行動できる学生がまず前提条件であって、そこから医学の知識、リハビリの知識をちゃんと学んで実践できる、当たり前なのですが、そこを専門学校なのでそこは大事にしたいというところが、今、教職員の1番本気な思いなのかなと考えております。

【福光】

FD、SD 研修でご苦労されてると思います。私も大学で教務部長として勤務をしていた時に、授業の改善を目的として教員間の授業参観を促進していました。日リハでは教員間の授業参観を行っていますでしょうか。

【阿部】

理学療法学科では、教員間の授業参観は行えていません。ただ、次年度の定員増加に伴い、グループ校から新たに 9 名の教員が加わることとなりますので、一つの科目を複数の教員が担当するような体制を整え、他の教員の良いところ、改善点などをもらってフィードバックするような形は整えたいと思っております。

【手塚】

作業療法学科の方も、研修という形での授業参観は行っていませんが、1つの授業に複数教員が入るような形で展開している授業があり、他の教員の授業を垣間見たりとかということは1年の業務活動の中では起こっています。ただ、教育の質的内容を上げようということで、きちんと形を整えてお互いの授業を見聞きすることは非常に大事なことだとも思いますので、先生が既に経験しておられるように非常に難しいと仰っていましたが、毎年の研修の中でその辺の要素も入れていけると良いかなと思います。今回も意見、是非参考にさせていただきます。ありがとうございます。

以上